

神に出会う



A stone statue of a standing Buddhist figure, possibly a Bodhisattva, with a serene expression and flowing robes, set against a background of green foliage and a dark building.



真命山

諸宗教救対話・霊性交流センター



霊性交流と

和水町の山々の緑と静けさに囲まれて真命山諸宗教対話・霊性交流センターは、ひっそりと立っています。西の方ははるかに有明海と島原半島の活火山雲仙が見えます。南には熊本にいたる平野と金峰山が望まれ、東には地上でもっとも大きなカルデラを形成している活火山阿蘇の外輪山が眺望されます。北には松と杉の林がつついています。

霊性センター真命山は、日本の古典文化を大事にしながらキリスト教霊性の日本文化内受肉と諸宗教対話促進の一翼を担おうとしています。具体的には、神との出会いの場である「自然」、神のみ言葉を聞く条件である「静けさ」、他の宗教の信仰をもつ人々を兄弟として心から迎え入れる「歓待」と「対話」がここの霊性の重要な特徴です。



聖ザベリオ宣教会のフランコ・ソットコルノラ神父の創立になる真命山は、アルバート・シュバイツァー博士の遺徳を偲び宗教法人生命山シュバイツァー寺を創建した古川泰龍師の協力を得て、1987年に「生命山カトリック別院」として始まりました。その後2003年、宗教法人聖ザベリオ宣教会の事業として名を「真命山」に改めました。

諸宗教対話

「すべての人々の救いの対話」を始めるように招いている第二バチカン公会議の精神と教会の指導を受けて、真命山はいろいろな領域で諸宗教対話を進めようとしています。

- 生活の対話
- 行動の対話
- 神学的意見交換の対話
- 宗教的体験の対話

そのために祈りと黙想などを通して諸宗教の信仰者を招き歓待し、相互理解と友愛を深めるための接触の場を設け、また諸宗教対話研修を企画推進します。諸宗教者の祈りと研究と学習のための集会を組織します。

